2024 年 3 月 29 日

術後膵液瘻に対する内視鏡的治療の有用性に関する検討

◆研究の目的と概要◆
当院では、術後膵液瘻に対する内視鏡治療の有用性について調べています。本研究では、その有用性を評価することで、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆
2012 年 1 月から、2022 年 8 月までの間に、術後膵液瘻と診断された方。

◆研究に使用される情報◆
年齢、性別、手術に至った疾患、術式、手術内容、膵液瘻径、入院期間、内視鏡を含めた治療内容

◆情報の研究利用開始日◆
2022 年 12 月 27 日以降

◆研究方法◆
本研究は診療録（カルテ）からの情報を利用します。

＊　研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
＊ 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合せ先までメールでご連絡ください。

【問い合せ先】
公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構　倉敷中央病院
消化器内科　研究責任者　　眞野俊史
E-mail：　kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）
（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
  （他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明